

重点目標一覧表

担当部局名 上下水道局

【平成26年度重点目標】

【平成27年度重点目標】

重点目標	経営効率化の推進		重点目標	経営効率化の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	<p>経営方針に基づく事業計画の推進 民間委託化の検討 ・上下水道料金徴収・窓口業務の包括的民間委託化の推進 ・浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討 収納率の向上 ・現年度分水道料金・下水道使用料 ・現年度分下水道負担金・分担金 公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計の統合検討 県企業局主催の水道事業運営研究会（仮称）での方向性研究</p>	<p>今後10年間の事業計画についてローリングを行うとともに、平成27年度予算との整合を図った。 ・平成27年10月からの民間委託にむけ、必要な予算を計上した。プロポーザル方式により業者選定を実施受託決定業者とは5年間の委託契約を締結 ・委託費用を検討した結果、早期委託化は困難と判断 ・目標99%に対し、99.10%(3月末現在) ・目標96%に対し、94.42%(3月末現在) 会計基準の改正があったので、統合は当面見合わせる。 研究会に参加(5回)</p>	<p>アセットマネジメント及び長寿命化計画を踏まえた今後10年の事業計画の様式を作成 民間委託化の実施 上下水道料金徴収等業務の民間委託化 収納率の向上 水道料金・下水道使用料(現年度分) 県企業局主催の水道事業運営研究会への参加</p>	<p>年度末までに各種計画を整合した事業計画の様式を作成 9月末までに業務の引き継ぎを適正に完了させ、10月から民間による業務を開始する 99%(H28年3月末) 今後の県水及び3市1町の水道事業のあり方、方向性を研究する</p>	
2	<p>真田地区の簡易水道を下水道へ統合 水源改修・改良 水源水質検査の強化体制継続 ・湧き水水源の水質検査 ・セシウム134及び137の検査 ・水質等自動検査設備設置 管路網解析による給水区域の見直しとバックアップ体制整備 有収率の向上及び鉛給水管の布設替</p>	<p>関係機関との合意完了。基本フレームを策定済 武石上本入第2配水池加圧ポンプ設置は、施工中で7月完了見込み ・クリプトスポリジウム、指標菌検査完了 ・浄水場原水、浄水、湧き水水源について完了 ・下水道2箇所、簡易水道2箇所完了 水量・水圧・標高のデータ入力完了 上田水道山口配水区域の切替実施 有収率84.1%、鉛給水管布設714箇所（概成）</p>	<p>水源水質検査の強化体制の継続 ・水源の水質検査 ・水質等自動監視設備設置 有収率の向上 真田簡易水道統合整備事業の推進</p>	<p>・クリプトスポリジウム 11箇所 34検体 指標菌 22箇所 122検体 ・下水道 伝送装置 1箇所 水位計 1箇所 簡易水道 伝送装置 4箇所 水位計 4箇所 漏水調査の実施、目標有収率85% L=1.6kmの新設</p>	
3	<p>下水道管路耐震化 下水道施設アセットマネジメント策定 浄水場の施設及び設備更新 ・鹿教湯浄水場の設備更新 ・腰越浄水場の設備更新</p>	<p>耐震管 目標6.7kmに対し、6.6km発注(4.2km完成) (うち老朽管 目標0.85kmに対し、0.5km完成) 現況施設におけるアセットマネジメント策定完了 ・鹿教湯浄水場の設備更新完了 ・腰越浄水場の設備更新は、傾斜板更新を除き完了。 傾斜板更新は、施工中で5月末完了見込み</p>	<p>下水道管路耐震化 下水道施設アセットマネジメント策定(施設の統廃合、ダウンサイジング) 浄水場の施設及び設備更新 ・染屋浄水場の設備更新 ・腰越浄水場の設備更新</p>	<p>L=6.0km 平成28年3月末 策定完了 ・親局テレメータシーケンサ更新 ・非常用発電機更新</p>	
4	<p>下水道施設の計画的な維持・更新</p>	<p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>達成状況・達成度</p> <p>L=1.7kmを完了。 接続のためのルート検討が完了 ・4処理場の実施設計完了 ・水処理施設・電気設備工事は施工中で6月末完了予定 目標500箇所に対し、886戸接続(2月末現在)</p>	<p>下水道施設の計画的な維持・更新</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>長寿命化事業の実施 下水道未整備箇所の解消 農業集落排水施設の機能強化事業の実施 農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 水洗化の促進</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>3処理場の更新工事の実施 ・上田地域:7箇所解消 丸子地域:3箇所解消 仁古田処理場の機能強化工事の実施 岡処理場の機能診断の実施 統合事業実施に伴う管渠の機能調査の実施 新規接続戸数650戸を目標とする</p>	
5	<p>循環型社会の形成に向けた資源の有効活用の推進</p>	<p>再生可能エネルギーの活用 浄水場堆積物を改良土として有効活用</p> <p>工事完了 発電開始 改良土化 636.7m³</p>	<p>技術継承に関する取り組み</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>技術継承のための人材育成の実施 継続的な資格取得の奨励や外部研修の受講促進による人材育成の実施</p>	<p>外部研修受講 ・下水道管渠関連 2人 ・水道技術耐震技術研修会 1人</p>	

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項	市長指示事項
<p>・民間委託化については、前進するよう鋭意取り組むこと。 ・施設の長寿命化については、計画的に進めること。 ・小水力発電設備については、導入に向け計画的に進めること。</p>	<p>・新しい水道事業については、補助率高上げ等関係機関へ引き続き要求していくこと。 ・農業集落排水の公共下水道への統合事業については、地元との調整を図ること。 ・技術継承のための人材育成は重要なことから、人事担当課とよく話し合うこと。 ・水力発電施設については、その時の状況によって対応できるよう引き続き調査・検討すること。 ・有収率の向上を図ること。 ・下水処理場の臭気対策にしっかり取り組むこと。</p>